

こけしの取り扱いについて

こけしの顔や胴の模様は染料で描いているため、紫外線や湿気は大敵です。色があせたり、にじんだりして良さが失われます。いつまでも美しいこけしを鑑賞するために、次のことにご留意ください。

- ・陽光があたる明るいところに置かない。
- ・蛍光灯の明かりが直接あたるところに置かない（白熱灯は影響が少ない）。
- ・濡れた手、汗ばんだ手でこけしに触れない。

乾いた布（木綿）で軽く拭くとつやが出てきれいになります。

こけしが入った麻袋の取り扱いについて

素材の特性上、水分や汗により色落ちすることがあります。また、摩擦などにより衣類に色が付着することがありますのでご注意ください。



諸橋近代美術館

福島県耶麻郡北塩原村松原
字剣ヶ峯1093番23
TEL.0241-37-1088 <http://dali.jp>

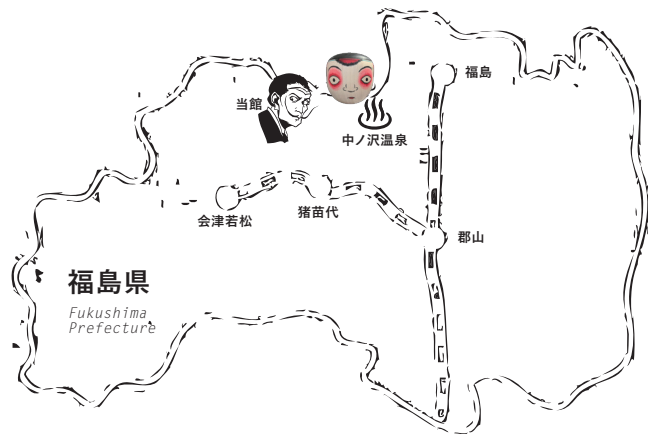
20th
ANNIVERSARY
MOROHASHI MUSEUM OF MODERN ART



たこ坊主と
もろびが
出会ったら

*Takobohzu
meets
Morobi*

※もろはしきんだいびじゅつかん 略称



奇抜、独創的、シュール・・・

他と一線を画す中ノ沢こけし、通称・たこ坊主。

たこ坊主の創始者・岩本善吉は浅草で「芸」と「舞踊」を修行したのち各地を転籍し、中ノ沢温泉で「たこ坊主こけし」を生み出しました。一風変わった経歴の持ち主で、中ノ沢でもその経験を遺憾無く発揮し、お祭りでは常にスターでした。奇抜な言動で注目を集めたサルバドール・ダリとどこことなく共通点を感じたりしませんか？ユーモアと独創性でたこ坊主こけしを今に伝える一人・野矢里志工人に依頼し、たこ坊主と当館のコラボこけしが生まれました。ダリ作品に欠かせない卵、ダリを特徴づけるヒゲ、そして表情をお楽しみください。



たこ坊主 バンザイ!!

中ノ沢こけしの全体的魅力は何と言ってもその表情にあると思います。ギョロツとした目に赤い隈取りは中ノ沢こけしの特徴で、一見怖そうでとっつきにくそうだと思われがちですが顔をつき合わせよくよく見るとどこか憎めない愛嬌のあるおどけたような顔をしている事に気づきます。全国のこけし産地の中でも特にユニークで喜怒哀楽のはっきりした人間味のある顔だと感じませんか。

中ノ沢こけしを「たこ坊主」と読んだ最初の人は偉いと思います。「たこ」という的確で親しみのあるネーミングは中ノ沢に対する深い洞察力と理解の表れだと感じられるからです。あなたも是非中ノ沢のたこ坊主たちともう一度にらめっこして見ませんか。

野矢里志

野矢里志 工人

中ノ沢こけし・たこ坊主の伝統を受け継ぐ工人。平成25年10月より父の俊文に師事し木地修行を開始。2年後の平成27年11月よりこけしの製作を始める。2018年「みちのくこけしまつり」全国コンクールにて伝統こけしの部・観光庁長官賞受賞。

